

「星野さんは話が長い」は大間違いです。 早く謝罪してください。

福島市矢剣町1-1-3 星野節子
024-563-7650
<https://ameblo.jp/animal-police>
↑これを読まないは大恥をかきます

警察職員各位

問題解決意欲のない警官が私に向かって「星野さんが話が長い」と筋違いのことを言いました。
大きな間違いです。謝罪してください。

1、私は論点整理能力・因果関係分析力が高く、用件のみ簡潔にまとめて話す能力が高いと自負しております。だからこそこまでできるのです。現に、私にしかできないことだらけではありませんか！

2、私は抱えている案件が多く、問題解決してきた案件も多いため解決策を知っています。よって、警察は私の話を真摯に聞いて、私のアドバイスに従えば良いだけですが、その気が全くないため私の話を長く感じてしまうのです。一体、どんな話題なら喜ぶのですか？自分を見つめ直してください。

3、警官は警察学校で建前だけを学ぶため、実態は冤罪体質が蔓延っています。警察の教育は無駄な規律だけを重視し自由を尊重していないからです。自由に生きてこそ、他者への思いやり・バランス感覚・分析力が育まれます。

4、「犯人は警察によってでっちあげられ、犯罪者は警察によって逃がされている」と言っても過言ではありません。現に、警察に動物愛護法違反で逮捕された警察がいなかったことからして、警察は自浄能力がないといえます。

5、私のことを「あなたはトラブルメーカーだ」と言った警官（数年前の生活安全課課長）は未だに謝罪していません。誰も解決できなくて放置しているトラブルのあるところへ出向いて行き、建設的かつ合法的かつ動物福祉精神にのっとって解決しているのは私であって警察ではないことは断言します。

警察は、問題のある虐待飼い主と私が接点を持つことで暴行事件等に発展する可能性を危惧して私をトラブルメーカー扱いしているのです。

私の活動の妨害をするなら警察が私の代わりに解決してください。莫大なお金と時間と能力を要しますができますか？ **お金を出さない人間は口を出してはいけません。**

警察職員各位

間違いを認めない体質を早急に改善してください。

福島市矢剣町11-3 星野節子
024-563-7650
<https://ameblo.jp/animal-police>
大恥をかく前に読みましょう

1、先般も冤罪被害者が「警察は間違いを認めない」と批判。正にその通りです。他人の人生をズタズタにすることに何ら罪悪感を感じない極悪非道な冤罪警察がいて冤罪顔をぶら下げて恥も外聞もなく街を歩いています。

2、人間は失敗して成長すると言います。それは、失敗した時に学ぶからです。ところが警察は、失敗が無かったことに偽装するのを「掟」としています。失敗だらけなのに失敗がないことにしてしまうから学ばない。学ばないから全く進歩しないため、年齢を重ねれば重ねるほど一般常識から著しくかけ離れる異常性と、能力の遅れが著しく目立つ者がいます。

このことが一般企業に勤める人から「一番、使いものにならないのは警察上がりの者」と断定される結果となるのです。警察という閉鎖的的社会の中で「失敗は絶対に認めない」という「掟」に縛られていて、まともな人間が育つはずがありません。現に自他共に認める3歳知能の警察OBがいます。

3、警察OBの中でも特に悪質な者が警察退官後に福島市役所で危機管理係として勤めていて、政治改革意欲のある私へいいがかりをつけていました。私へいちゃもんをつけるくせに色欲だけはあるのが手に取るように伝わってきます。

4、反論というのは、相手の考え方に対して異論がある時にしますが、私を悪者にでっちあげて恥をかかせようと企んで、私が言っていないことに対して、大声で不特定多数者に聞こえるように反論するというミニ冤罪が頻繁に行われています。これは私だけが受けている被害ではなく「警察は言葉遊びで人権侵害している」というのが世間の共通認識です。

一例ですが、私が市役所ロビーで顔見知りの警察OBへ「みなし税によって莫大な税金を払わされた、、、腹が立つ」と愚痴をこぼしていた時、通りかかった警察OB（内山）が大声を張り上げて、市職員や来庁者に聞こえるように「星野さんが税金払いたくないんだってさ！」と叫んだのでした。私が「もと警官で現在は市役所で危機管理をしている内山は私のことを脱税者にでっちあげようとしています」と大声で返したら内山は逃げて行きました。

後日、そのことを福島署へ告げ口に行ったら、二人の警官が「あの人は一癖も二癖もある人ですから」と。内山は福島署内でも有名なくせ者だったのです。

※みなし税とは・・・利益を得た訳ではないのに利益を得たことにして課税するというとんでもない税法のため、知らないうちに脱税者になっているという悪法。これについて税制調査会へ意見すれば変えられると思いますから、これから税制調査会へ意見します。

また、他人の敷地に入らないとその家のドアホンを押せないため、敷地に入って行った事に対して、悪質な警官が「なんでドアホンを押さないで勝手に敷地内に入ったの！」と。

私の腕の長さは1メートルもないため、土地境界線からドアホンまで10メートル以上もある場合、先ずは敷地内に入らないとドアホンを押せませんので、警察はいいがかりを付けたこととなります。そういう警察は私に完全論破されて急に低姿勢になります。このことは、私でなかったら警察から人権侵害を受けて泣き寝入りという構図です。

6、私の活動は動物の処分・遺棄の削減に貢献しています。いちゃもんつけではなく感謝してください。私のおかげで法律違反者にならずに済んだのです。その根拠は、ホームレス猫を追い払うのは動物の習性に反するため動物愛護法違反。給餌妨害は生命維持の妨害のため動物愛護法違反。私が30年前から財産をなげうって行っている建設的かつ合法的な地域猫活動によって（避妊手術実績は5,400匹以上）、ホームレス猫が激減しているため、ホームレス猫を追い払うとか給餌妨害という違法行為も減っています。それでも感謝できないのですか！毒殺・衰弱死・交通事故死・処分数が激減していて喜ばないのは冷酷な証。

私がいなかったら《行政と警察がミスリードしながら、市民の大半が給餌妨害で猫減らしを恒常的に行う》という違法かつ残虐行為しかできなかったのです。国（環境省）が30年も前から示している指針に背いて福島県庁平野井浩は動物愛護法を歪曲解釈してホームレス猫への給餌妨害によって違法な猫減らしを推し進めていたため市町村もそれに準じていました。また、県庁 HH は私の実績を自身の実績のように作文して新聞社へホラを吹いたり、失敗は部下へ責任転嫁していた県庁でも有名なワルでした。

7、法の番人である警官が率先して違法行為をしていたのですが動物愛護法違反で逮捕された警察はいません。狭い世界にいると善悪の区別がつかなくなるため、逮捕すべき警官を身内が逮捕しないのです。警察署内には動物愛護法違反警官がわんさかといえます。

諸悪の根源は、間違いを認めないから勉強する必要がない、勉強しないから何も解っていない ということです。**間違いを認めない体質を早急に改善し、遅れを取り戻すための勉強をしてください。50年遅れてるのですから。**